



Cisco cBR シャーシのインターフェイスカードのメンテナンス

- Cisco cBR シャーシからのインターフェイス ライン カードの取り外し, 1 ページ
- RF PIC からの UCH.8 コネクタの取り外し, 4 ページ
- Cisco cBR シャーシからの RF PIC の取り外し, 4 ページ
- インターフェイス ライン カードからの cLGA コネクタの取り外し, 7 ページ
- ライン カード PCB への cLGA コネクタの取り付け, 10 ページ

Cisco cBR シャーシからのインターフェイス ライン カードの取り外し

インターフェイス ライン カードを取り外すために、シャーシの電源を切る必要はありません。

はじめる前に

- 静電気防止用リストストラップを手首に取り付け、シャーシに接続されたアース ラグに他の端を接続します。
- 機器の重量とサイズに留意してください。慎重に取り扱うようにしてください。
- インターフェイス ライン カードを取り外す前に、シャーシ内の次のいずれかのカードをすぐに交換できることを確認します。
 - 交換用インターフェイス ライン カード
 - ライン カード ブランク

**注意**

動作中のシャーシからラインカードブランクを取り外してから3分以内に、シャーシに交換用ラインカードまたはラインカードブランクを取り付け、各コンポーネントの過熱に関連する深刻な過熱アラームが発生しないようにします。

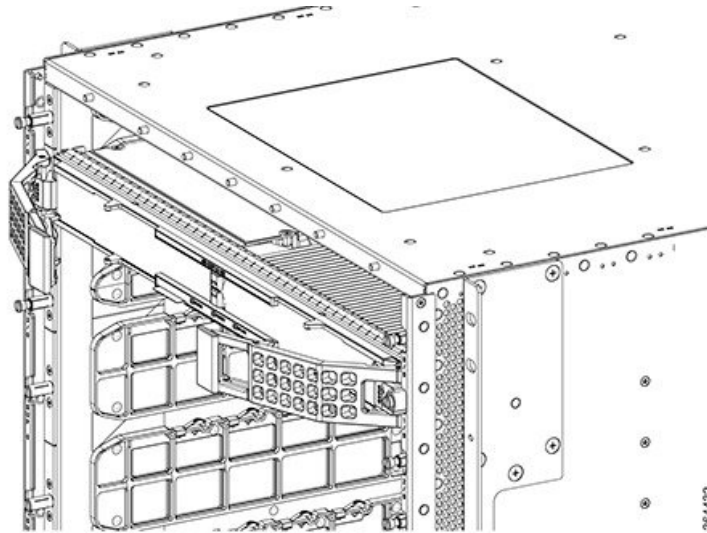
必要な工具と部品

- ESD 防止用リストストラップ
- 3/16 インチ マイナス トルク ドライバ
- 静電気防止袋

ステップ 1 非脱落型ネジの赤色帯域が見えるようになるまで、3/16 インチ マイナス トルク ドライバを使用して、適切なスロットの非脱落型ネジを緩めます。

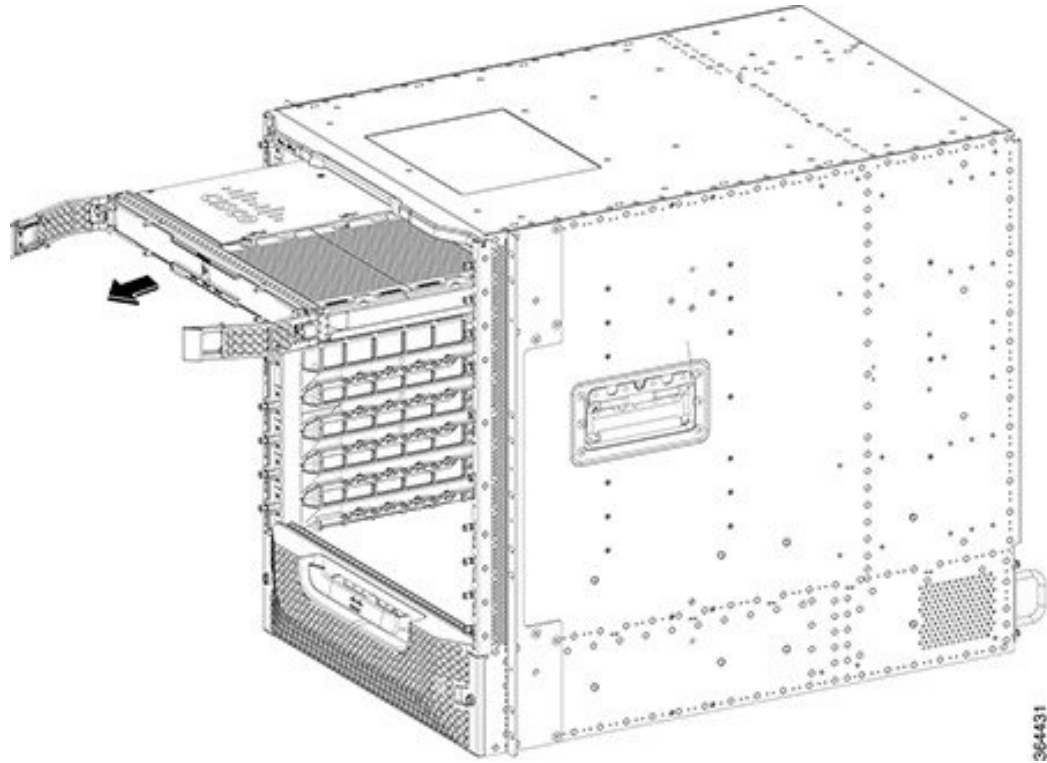
ステップ 2 カードのバネ式イジェクタが外れ、前面プレートに垂直になるまで引きます。これにより、シャーシからカードが外れます。

図 1: インターフェイスカードのバネ式イジェクタの開放



ステップ3 カードに両手で均一な力を加えてスロットから慎重に外します。

図2: スロットからのインターフェイスカードの取り外し



ステップ4 片手でカードの前面プレートをつかみ、もう片方の手を下に添えてカードの重量を支え、スロットからカードを取り外します。

ステップ5 取り外したカードを静電気防止用袋に入れます。

(注) ラインカードブランクを取り外しても、静電気防止袋に入れる必要はありません。

(注) 静電気防止袋に入れる前に、バネ式イジェクタを閉じます。

次の作業

- インターフェイスラインカードの交換またはラインカードブランクの取り付けを行います (必要に応じて)。

RF PIC からの UCH.8 コネクタの取り外し

3つの UCH.8 コネクタは RF Through PIC 接続されています。RF PIC を取り外すには、RF PIC に接続された UCH.8 コネクタを最初に取り外す必要があります。この手順は、RF Through PIC に対してのみ使用します。次に、1つの UCH.8 コネクタを取り外す方法について説明します。3つすべての UCH.8 コネクタを取り外すには、この手順を繰り返します。

はじめる前に

- 静電気防止用リストストラップを手首に取り付け、シャーシに接続されたアース ラグに他の端を接続します。

必要な工具と部品

- ESD 防止用リストストラップ
- 3/16 インチ マイナス ドライバ

-
- ステップ 1** 3/16 インチ マイナス ドライバを使用して、UCH.8 コネクタの親ネジを緩めます。
- ステップ 2** UCH.8 コネクタがポートから外れるまで、UCH.8 コネクタを緩めて引き抜きます。
-

次の作業

[RF Through PIC を取り外します](#) (必要に応じて)。

Cisco cBR シャーシからの RF PIC の取り外し

はじめる前に

- RF PIC を取り外す前に、シャーシ内の次のいずれかのカードをすぐに交換できることを確認します。
 - 交換用 RF Through PIC または RF Protect PIC
 - PIC ブランク



注意 動作中のシャーシから RF PIC または PIC を取り外してから3分以内に、シャーシに交換用 RF PIC またはブランク PIC を取り付け、各コンポーネントの過熱に関連する深刻な過熱アラームが発生しないようにします。

- 静電気防止用リストストラップを手首に取り付け、シャーシに接続されたアースラグに他の端を接続します。
- 機器の重量とサイズに留意してください。慎重に取り扱うようにしてください。
- RF Through PIC を取り外すには、最初に [UCH.8 コネクタを取り外します](#)。

必要な工具と部品

- ESD 防止用リストストラップ
- 3/16 インチ マイナス ドライバ

- 静電気防止袋

- ステップ 1** 非脱落型ネジの赤色帯域が見えるようになるまで、3/16 インチ マイナス トルク ドライバを使用して、適切なスロットの非脱落型ネジを緩めます。
- ステップ 2** PIC がミッドプレーンのコネクタから外れるまで、イジェクトレバーを引きます。PIC に両手で均一な力を加えてスロットから慎重に外します。

図 3: RF PIC のイジェクトレバーの開放

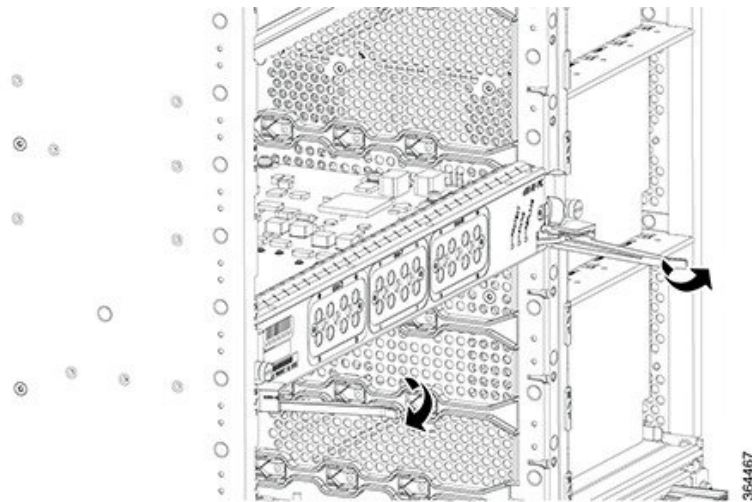
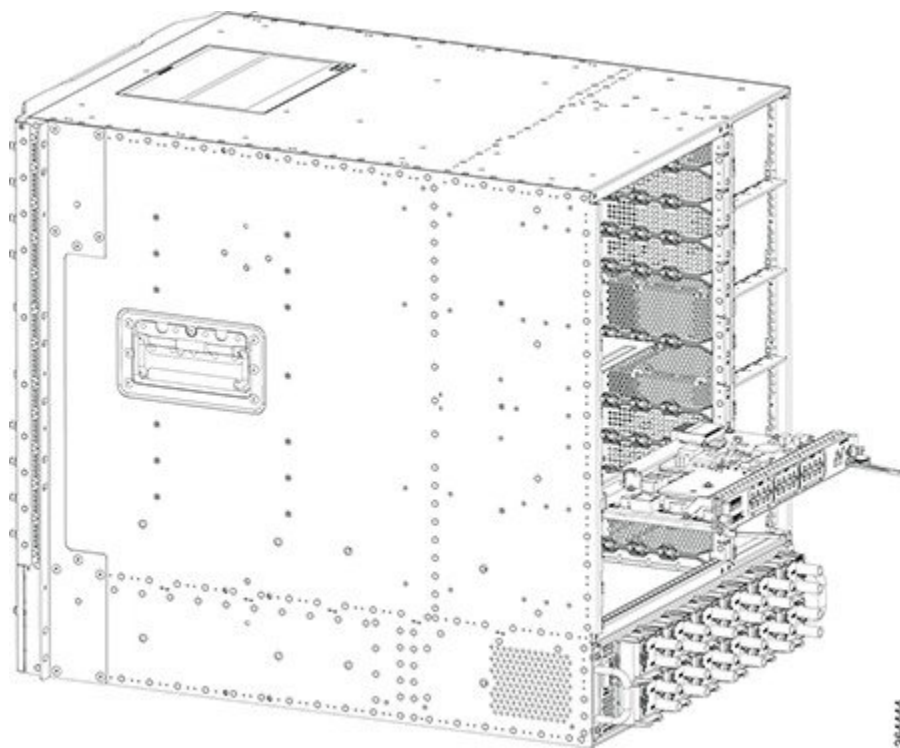


図 4: シャーシからの RF PIC の取り外し



ステップ 3 取り外したカードを静電気防止用袋に入れます。

次の作業

- RF Through PIC、RF Protect PIC、または PIC ブランクと交換します。

インターフェイスラインカードからの cLGA コネクタの取り外し

cLGA 10 X 22 位置 .050 C/L コネクタ (cLGA コネクタ) を取り外す必要があるのは、障害や不具合が発生した場合のみです。

はじめる前に

- 静電気防止用リストストラップを手首に取り付け、シャーシに接続されたアース ラグに他の端を接続します。
- 機器の重量とサイズに留意してください。慎重に取り扱うようにしてください。
- コネクタ表面の汚染を防ぐために、cLGA コネクタを取り扱う際にはゴム製の手袋を着用します。

- インターフェイスラインカードを取り外します。
- ダウンストリーム D3.0 モジュールを取り外します。

制約事項

- 交換用ラインカードまたはラインカードブランクが、空のラインカードスロットに取り付けられるかを確認します。
- 交換用インターフェイスラインカードまたはラインカードブランクが取り外しから 3 分以内に取り付けられるかを確認します。

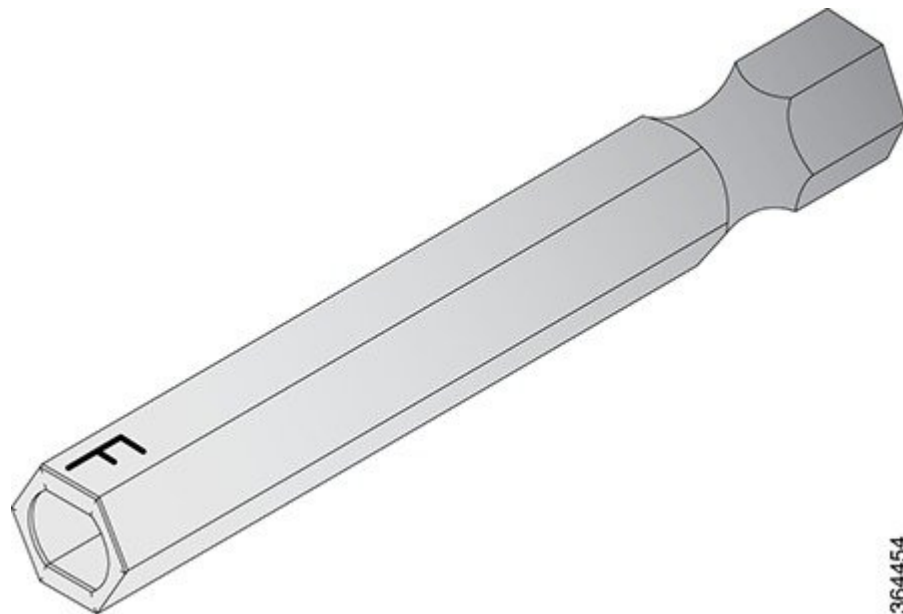


注意 ラインカードスロットは、各コンポーネントの過熱によるシャーシのシャットダウンを防止するため、3分以上空にしないでください。

必要な工具と部品

- ESD 防止用リストストラップ
- 10830 押えネジ用六角ソケットビット（着脱可能なビット付きドライバを使用）

図 5: 10830 押えネジ用六角ソケットビット

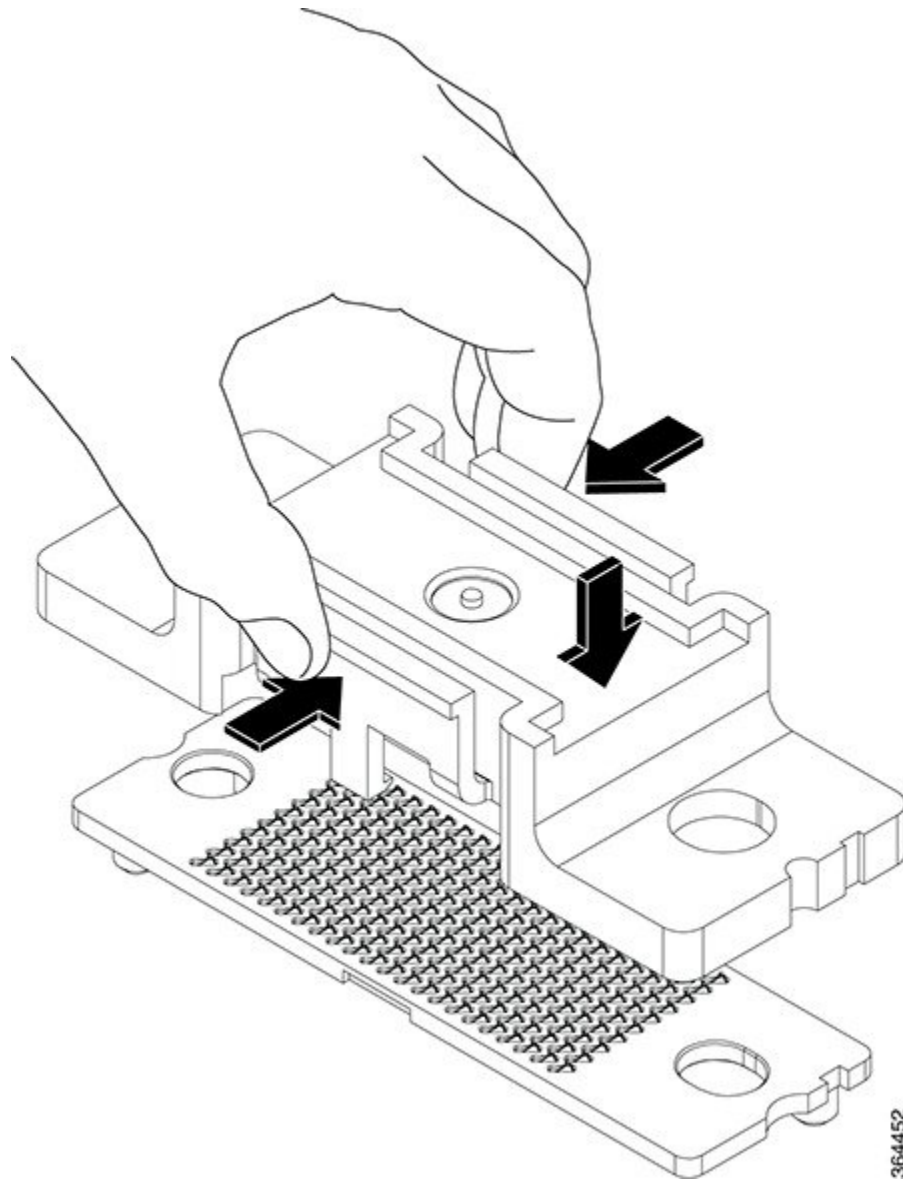


- 交換用ラインカードまたはラインカードブランク（取り外したラインカードを 3 分以内に再度取り付けできない場合）

- 静電気防止袋

ステップ 1 cLGA の保護カバーを交換するには、親指と人差し指でカバーの側面クランプをつかみ、cLGA コネクタとカバーの位置を合わせ、クランプを放します。クランプが cLGA コネクタ上で固定されていることを確認します。

図 6 : cLGA コネクタへの保護カバーの取り付け



- ステップ 2** PCB に cLGA コネクタを固定している 10830 押えネジを 2 個緩めて取り外します。
- ステップ 3** 親指と人差し指で保護カバー付き cLGA コネクタをつかみます。cLGA コネクタ下部のガイドピンが PCB のガイドホールから外れるまで cLGA コネクタを持ち上げます。
- ステップ 4** cLGA コネクタを静電気防止用袋に入れます。

次の作業

交換用 cLGA コネクタを取り付けます。

ラインカード PCB への cLGA コネクタの取り付け



(注) ダウンストリーム D3.0 モジュールの取り付け準備が完了するまで、cLGA コネクタのキャップを取り外さないでください。

cLGA コネクタは、インターフェイスラインカードのダウンストリーム D3.0 モジュール交換時に、ダウンストリーム D3.0 モジュールの取り付けよりも前に取り付ける必要があります。

はじめる前に

- 静電気防止用リストストラップを手首に取り付け、シャーシに接続されたアースラグに他の端を接続します。
- 機器の重量とサイズに留意してください。慎重に取り扱うようにしてください。
- コネクタ表面の汚染を防ぐために、cLGA コネクタを取り扱う際にはゴム製の手袋を着用します。

制約事項

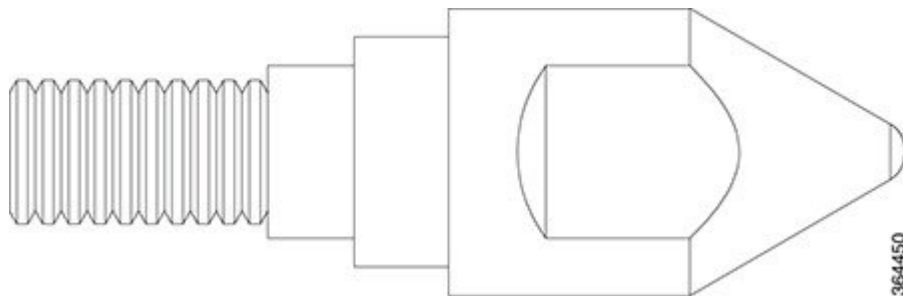
- 取り付けした RF Protect PIC または RF Through PIC に対応するように、スロットにインターフェイスラインカードを取り付けます。

必要な工具と部品

- ESD 防止用リストストラップ
- cLGA コネクタ取り付けキットは次の工具で構成されます。
 - 10830 押えネジ用六角ソケットビット (着脱可能なビット付きドライバを使用)

° 10830 押えネジ

図 7: 10830 押えネジ



° cLGA 10 X 22 位置 .050 C/L コネクタ (cLGA コネクタ)



(注) 取り付け後、今後のために六角ソケットビットを保管しておきます。それらは cLGA コネクタの取り外しで必要になります。

ステップ 1 親指と人差し指で保護キャップの側面を持って cLGA コネクタを保持します。

注意 cLGA コネクタの保護キャップ側面を力強くつかまないでください。保護キャップ側面に力を与えすぎると、cLGA コネクタを保持するキャップのクランプが外れてしまいます。

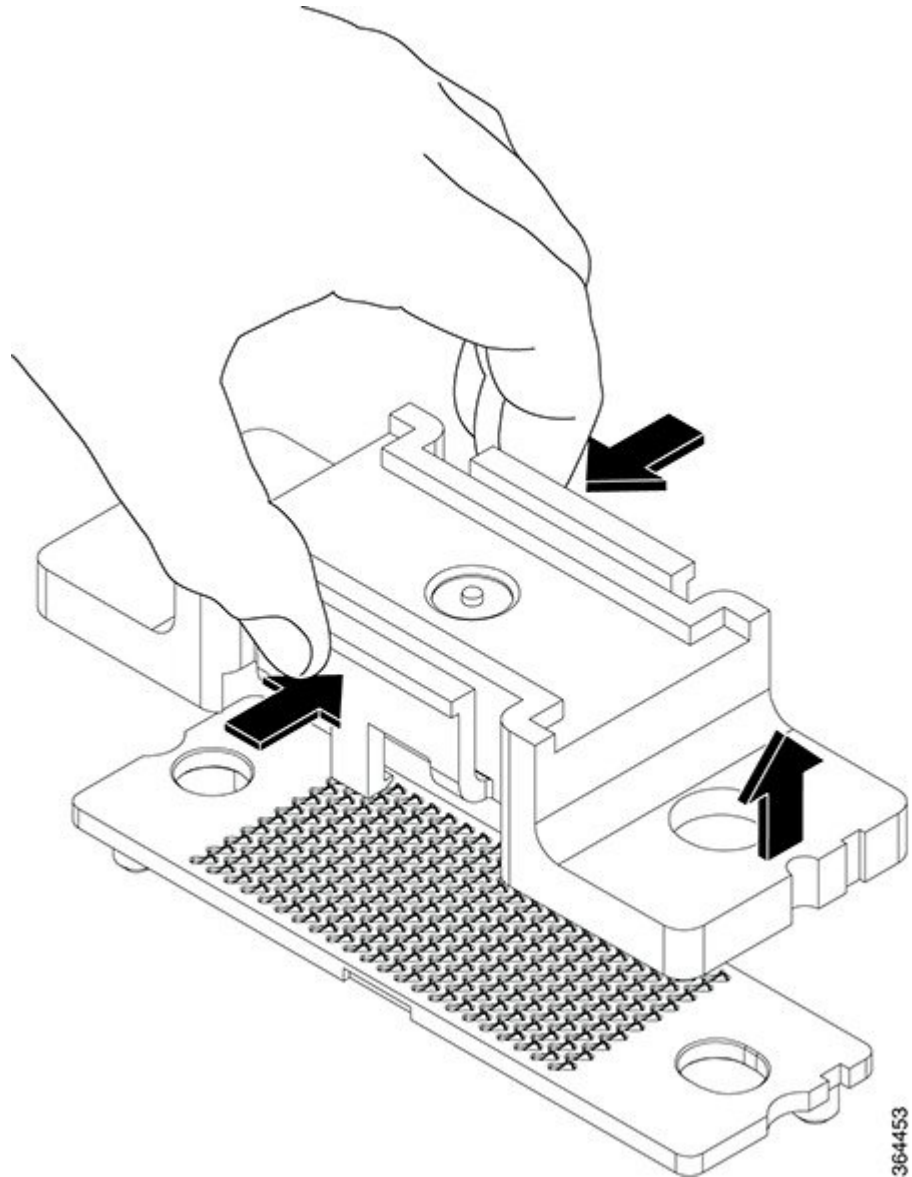
ステップ 2 cLGA コネクタ下のガイドピンと PCB のガイドホールを位置を合わせ、PCB の cLGA コネクタを設定します。

ステップ 3 10830 押えネジを挿入し、六角ソケットドライバを使用して 4.4 インチ ポンド (0.5 Nm) のトルクで締めます。

次の作業

- ダウンストリーム D3.0 モジュールの取り付け前に、cLGA コネクタから保護カバーを取り外します。

図 8 : cLGA コネクタからの保護カバーの取り外し



- ダウンストリーム D3.0 モジュールを取り付けます。